

長期化する上海のロックダウン

中国・上海市で3月下旬に開始された都市封鎖（ロックダウン）は、依然として感染収束の目処が立たず、まもなく1カ月が経過しようとしています。

◆ ロックダウン期間中の生活

ロックダウン期間中は、原則自宅から外に出ることはできません。上海では多くの人々がマンションで生活していますが、共用部（廊下など）に出ることさえできないため、多くの人々が閉鎖空間に長期間閉じ込められている状況です。

この状況下、最大の問題は食料調達です。当初は1週間程度での封鎖解除を想定していたため、既に手元の食料が尽きている家庭がほとんどです。市政府が行なっているとされる配給も、地域によっては届いていなかったりと、市内の混乱ぶりが手に取るように伝わってきます。そのため、地域内で協力して共同購入を行ったり、早朝から数少ないネット販売に殺到したりと、必死で生活必需品の調達を試みているのですが、問題解決への道のりは未だに険しい状況です。

◆ 連日実施される検査

ロックダウン期間中は連日検査が実施されます。検査には、自宅で自自行う「抗原検査」（週4～5回※）と検査場所に赴いて行う「PCR検査」（週1～2回※）の2種類があります。※地域の感染状況によって異なります

各検査は、市政府からの指示に基づき地域ごとに実施され、事前に検査の種類・時間が通知されます。時には夜20時過ぎに通知を受け、21時から検査をすることもあります。PCR検査の際には、順番がくると電話などで呼び出され、防護服を着た担当者に検査場所まで誘導されて検査を受けます。もちろん決して楽しいものではありませんが、長い間室内だけにいると、たとえ検査であっても外に出られるということに喜びを感じてしまうような状況です。検査の変更・中止通知も頻繁にあります。実施においては厳正な対応が求められます。検査結果はすべてデジタル管理されており、各地域の封鎖レベルの調整なども検査結果に基づいて行われます。

◆ 影響の更なる拡大懸念

中国国内では上海以外の都市でもロックダウンが行われています。いまや世界経済・マーケットにおいて大きな存在感を持つ中国の現状は、日本を含めた世界中に今後更に大きな影響を及ぼすことになりそうです。（上海駐在員事務所 澤田 洋介）

毎日早6:00開放予約

货源充足 物价稳定 商品正在分批上架中。
同心战疫，共克时艰，美团买菜与您同在。

早朝開始されるネット販売。しかし、数分後には完売...



地域内に設置された検査場所



感染対策のため屋外で実施されます

【お問合せ先】

七十七銀行 市場国際部 アジアビジネス支援室
TEL.022-211-9880

【Global Letter NEXT ホームページ】

その他の記事はこちらからご覧ください。

https://www.77bank.co.jp/kokusai/globalletter_next/



本紙記載の内容につきましては、当行が信頼できると考える情報に基づき作成しておりますが、その正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談いただくようお願い申し上げます。